

朝来市自伐型林業フォーラム 質問及び回答【作成:自伐型林業推進協会】※一部、朝来市が回答

整理番号	質問/意見	回答	回答者
1	作業道の水切りの高さはどのくらい必要ですか。	地表部の高さは、10cm～20cm程度となります。	自伐協
2	自伐型林業の作業道設置基準はありますか。	山地災害を防ぐため風・雨・光を入れない幅員2.5m以下、切り高1.4m以下の壊れない高密度路網が基本となります。 その他、谷渡り時には洗越し工法により谷を中心に勾配を下げるなど、洗越しが堰堤の役割を果たし、土石流を抑制する効果があります。	自伐協
3	森林組合では皆伐再造林が進められているが、市としてどのように考えていますか。	皆伐によって災害を誘発してしまう事案がありますが、皆伐が悪いのではなく、皆伐するのに見合った地形、地質等の森林で行うことが重要ではないかと考えます。 例えば、急峻な地形で林業に適していない森林は今後、切捨間伐を繰り返すことで広葉樹との混交林化を図って、災害に強い山づくりをしていく必要があると考えます。	朝来市
4	森林経営管理法は、自伐型林業とは相反するのでしょうか。	森林経営管理法では、森林整備に係る施業方法についての規定はなく、地元自治体に委ねられています。朝来市では、森林組合に委託して実施している施業は基本的な間伐率を3割としていますが、自伐型林業推進事業における間伐率は2割としています。これは、作業道を設置することができない奥地の森林は3割にすることで、早期に適正な森林に誘導していくためであり、自伐型林業は間伐率を下げた多間伐施業による持続性のある施業であるため、目的の違いによるものと御理解ください。	朝来市
5	高品質材を育てていく間、それが売れるまでどう生活したらいいのか。	未整備林から高品質材を生産できるようになるためには10～20年はかかります。最初の10年は作業道を整備しながら劣勢木から2割以下の間伐を行います。この間は作業道補助金に頼らざるを得ません。この時期に収入を上げようとして間伐率を上げると多間伐施業が不可能な森林になってしまいます。その10年後に2回目の間伐に入りますが、前回の間伐よりは面積当たりの蓄積量が増えており、一定の良質材も生産できるようになります。これを繰り返しながら徐々に高品質材を生産できる森に成長させていく手法が多間伐施業です。徳島県の自伐林家が既に4回目の間伐に入っており、良質材生産を続けています。	自伐協
6	週末林業から始めたいのですが、まずは何から始めたらよいですか。	この秋にスタートする自伐型林業体験研修の受講をお勧めします。まずは、わかりやすい初心者向け研修に参加していただき、そして次ステップとして自伐型林業を実践する林家さんや講師たちから学んでいただくことが第一となります。	自伐協
7	自伐型林業者に失敗談や苦勞した話を聞きたいです。	当協会では失敗談の話をもらったことはございませんが、始めるにあたっての初期費用の準備や山林の集約、自治体の後方支援がないことなど、苦勞事例をよく聞きます。	自伐協
8	山林所有者が自伐林家を応援したい場合、どうすればよいですか。	朝来市においては、朝来市自伐型林業推進協議会と「森林整備に関する協定書」を結んでいただくことで、協議会員が施業させていただくととなります。	朝来市
9	自伐型林業と既存の林業施業との共存共栄は可能でしょうか。	現在の林業手法は標準伐期50年での皆伐施業です。自伐型林業は長期視点の多間伐施業ですので真反対の手法です。現在の木材流通の主体は合板集成材や木質バイオマス発電所ですので、皆伐施業と相性が良いのです。自伐型林業は良質材生産ですので相性はあまりよくありません。ですので同時に存在はしますが、共栄は難しいと思います。林業自体が成長していく際に、古いものと新しいものが同時に存在しているのと同じ感じです。	自伐協

10	自伐型林業道をつけて伐り出すだけなのでしょうか。	作業道は出材するだけのものではなく、長伐期多間伐施業を通じて、環境共生型森林、美しい森づくりを目指すことで、中山間地域の元気づくりにつなげていくことの基盤となります。	自伐協
11	世代交代をしながら200年の森づくりは可能でしょうか。	可能です。奈良県吉野地域の伝統的林業を参考にしてください。	自伐協
12	節やあて材の多い木を高品質材として成立するか。	枝打ちなど育林が不十分で節が残る材や、風などを受けてできるアテは原木市場などではじかれたり、値引きされることが多いようです。	自伐協
13	朝来市には、地域産材で製材し、乾燥、建材にしていく流通はありますか。	朝来市でも昔は多くあった製材所も現在は2業者のみとなっています。どちらも乾燥設備は無く、地域産材を流通させるサプライチェーンの構築は大きな課題となっています。	朝来市
14	作業道をつくるにはかなりの研修が必要ですか。	自伐型林業を熟知する確かな作業道開設講師から基本を学びながら、経験を積んでいくことが大切です。自ら開設できるまでの期間は各自のスキルアップによってそれぞれです。	自伐協
15	生業として成り立つ面積はどのくらいからでしょうか。	一人当たり30ha以上。副業型を目指す場合は20ha以上が一つの目安となります。	自伐協
16	事業体では非経済となる山林に自伐型林家を入れることで採算がとれるでしょうか。	一概に採算がとれるかどうかはわかりません。樹種/年齢や立木数、過去の除伐/間伐状況など、多くの条件を鑑みて経済林となりうるかどうか判断します。	自伐協
17	全国の山ヒルの生息状況がわかれば教えてください。わからなければかまいません。	一般的には秋田県以南から沖縄までが生息域と言われますが、今、全国各地で生息域を広げています。鹿が増えると山ビルも増えるようです。鹿が劇的に増える原因として皆伐が指摘されています。皆伐跡地に生える草木類が餌になるようです。鹿が増えれば山ビルも増えるという構図となっています。	自伐協